

変形性股関節症

へんけいせいこかんせつしょう



K-style

医療図書館

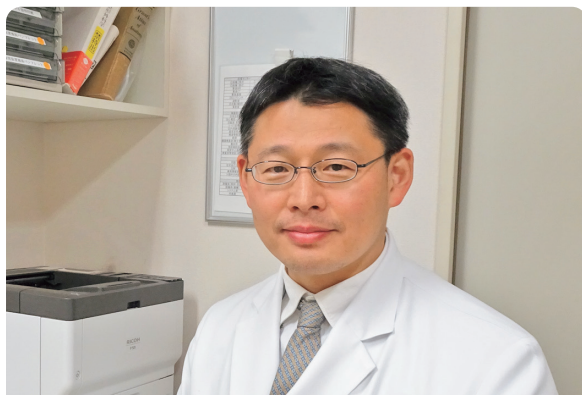
Vol.79

2025 春号

変形性股関節症とは

変形性股関節症とは、股関節に生じた変形性関節症です。変形性関節症は、組織異常やさまざまな外因（怪我など）によって関節の損傷が生じて、さらに関節軟骨や骨の破壊に繋がる疾患です。我が国での症候性変形性股関節症の有病率は0・75%（男性0・29%、女性0・99%）とされています。関節部に生じるので手指の変形性関節症などは目につくことが多い疾患ですが、股関節の場合には深部にある関節ですので通常目につくことはありません。痛みの場所や感じ方も個人差があります。しかしながら、股関節は日常生活においてまさに「根っこ」の部分であり、関節症が進行して疼痛が強くなると歩行障害をはじめ、様々な日常生活での支障をきたすこととなります。（図1・2・3）

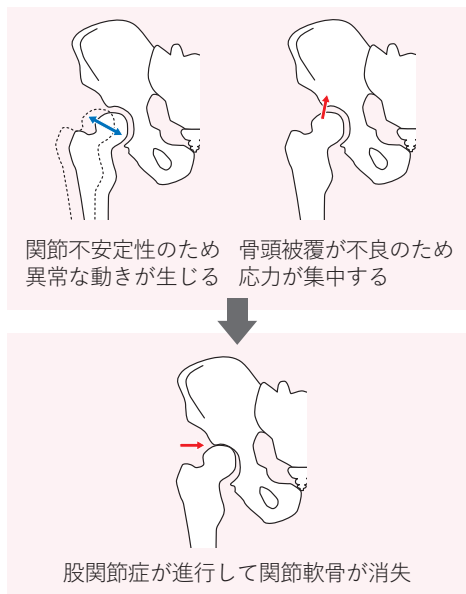
特に我が国で特徴と言えるのは、発育性股関節



川崎医科大学附属病院 整形外科 副部長 遠藤 裕介

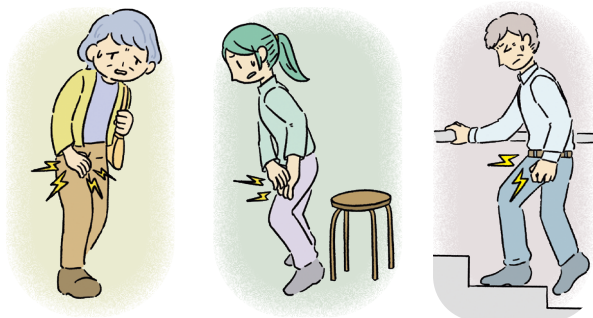
日本整形外科学会専門医、日本人工関節学会評議員・認定医

（図4）発育性股関節形成不全のシェーマ



節形成不全という病態が原因となることが多いことです。この病態は股関節の受け皿である寛骨臼（かんこつぎゅう）が成長終了時に正常範囲に至らず被覆不十分な状態のまま経年的に関節軟骨がすり減ってしまいます。（図4）小児期の股関節脱臼があり治療を受けた患者さんなどは定期的に画像検査を受けているので早期に診断発見が可能です。しかしながら、初期関節症の状態では痛みが出ないので高齢になって発症する患者さんも多いのが現状です。比較的年齢が若く、股関節症が進行する前の状態の患者さんでは関節温存術の適応があります。進行した状態になった患者さんには全人工股関節置換術という手術が一般的です。当院では年300症例以上の人工股関節手術

（図1）歩行時の痛み （図2）椅子から立ち上がり時の痛み （図3）階段移動時の痛み

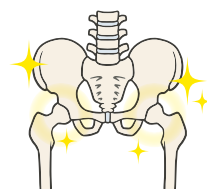


チェックリスト

- ☐ 股関節痛：鼠径部（脚の付け根）に痛みを感じる
- ☐ 股関節の雑音（れきおん）：動くと股関節の音がして痛い
- ☐ 可動域制限：足の爪切りや靴下の履き替えがしにくくなってきた
- ☐ 歩行時痛、歩行障害：歩いているとだんだん股関節の痛みが強くなり歩きにくくなる
- ☐ 起坐困難：椅子からの立ち上がり時に股関節の痛みがでる
- ☐ 昇降困難：階段などで股関節の痛みが強く登れない
- ☐ 安静時痛、夜間痛：動いてないときや寝ているときにも股関節に痛みを感じる

を手掛けており、全国でも件数の多い病院です。当科での実際の手術は全員一律というわけではなく、主治医が患者さんの画像上の変形や関節可動範囲のほか、生活様式などを評価して、手術の侵入方法や人工関節の種類を選択しています。術前に主治医に生活習慣、仕事内容やスポーツ活動などの相談をしてください。次のチェックリストをみて気になった方は主治医に相談してみてください。

変形性股関節症の治療について

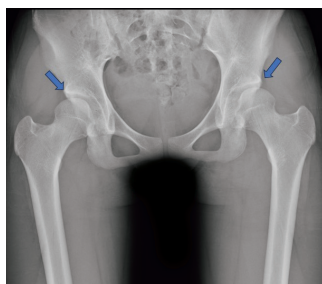


本稿では「関節温存術」と「ナビゲーションシステムを用いた全人工股関節置換術」について紹介します。

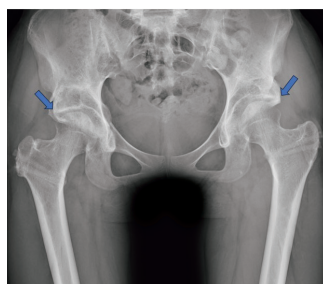
1. 関節温存術(骨盤骨切り術)

まだ関節軟骨が残っている状態の変形性股関節症では、骨盤骨切り術(寛骨臼(かんとつぎゅう)移動術)という手術があります。関節症が初期で40歳代以下の長期リハビリが可能な患者さんが適応となります。条件がそろえば安定した成績で人工関節を回避することも期待されます。

(図5)14歳女性。左股→右股の順に関節温存術を施行



両側寛骨臼形成不全術前
X線像(→が関節の外側縁)

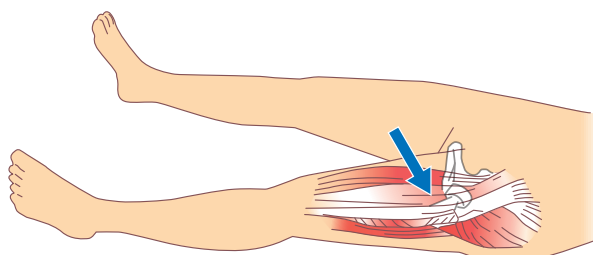


両側寛骨臼移動術後
X線像(→が関節の外側縁)

2. 筋間アプローチでナビゲーションシステムを用いた全人工股関節置換術

全人工股関節置換術において、なるべく術後脱臼リスクを減らすために、当院では多くの症例で筋間アプローチによる手術を行っています。(図6)メリットとして、術後3か月以降は脱臼予防の姿勢制限をなしとしています。また、カップ(骨盤側の受け皿)の設置角度は脱臼予防や長期成績にも重要であり、より精度の高い手術を行うためにナビゲーションシステムを併用しています。ナビゲーションには様々なタイプがありますが、基本的に骨盤の傾きを補正して正確な角度を術者が把握するためのツールです(図7・8)。当院ではほぼ全例でナビゲーションシステムを用いた手術を施行しています。

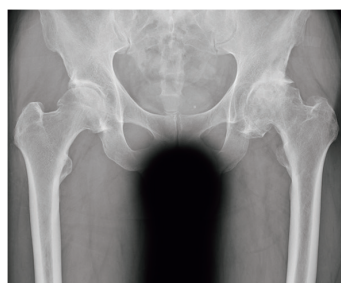
(図6)筋間組織を温存して行う仰臥位(ぎょうがい)筋間アプローチ



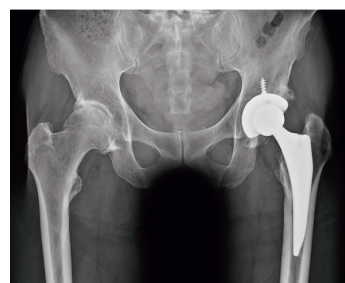
(図7)ナビゲーションシステムを用いたカップ設置



(図8)62歳男性。ナビゲーションシステムを用いたカップ設置で全人工股関節置換術を施行



左末期変形性股関節症
術前 X線像



全人工股関節置換術
術後 X線像

